

# 「西洋貴重書保存インデックス」 のご紹介

一橋大学学術・図書部学術情報課古典資料係  
堀越 香織

2019.12.12 (木)

九州地区西洋古典資料保存講習会@九州大学附属図書館



その前に：

## 一橋大学社会科学古典資料センターの概要

- ・ 1978(S52)年に図書館から分離した貴重書専門図書館
- ・ 一橋大学が商法講習所(1875(M5)年創立)以来収集してきた社会科学の西洋古典を集中管理
- ・ 研究組織を備える
- ・ 1995(H7)年に貴重書保存修復工房を開設
- ・ 蔵書数76,206点(図書・紙資料75,380点、マイクロ826点)
- ・ (2018年度末現在)
- ・ センター長(兼任)1名、教授(兼任)1名、助教1名、  
図書系職員(兼任)2名、保存修復スタッフ(兼任)2名

その前に：

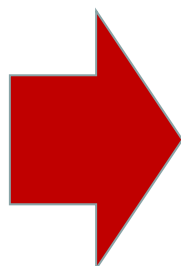
## 一橋大学社会科学古典資料センターの概要

- ・ 西洋社会科学古典資料講習会(39回)と、西洋古典資料保存講習会(19回)を開催し、西洋古典資料に関する知識や保存に関する知識・技術の伝搬に努める
- ・ 2016～18(H28～30)年度に「西洋古典資料の保存に関する拠点およびネットワーク形成事業」を実施

## 「西洋古典資料の保存に関する拠点 およびネットワーク形成事業」とは

文部科学省共通政策課題(文化的・学術的な資料等の保存等) H28-30年度採択

- 明治以降わが国の発展に寄与した学術文化遺産である西洋古典資料の現状
  - ・ 深刻な劣化
  - ・ 専門人材の枯渇
  - ・ 保存技術継承の危機



- ・ 保存状況調査
- ・ 中核的人材育成
- ・ ネットワーク形成

## 事業の主な内容と成果

### 1. 中核的人材の育成

- 実務研修

### 2. ネットワーク形成

- 西洋古典資料保存のためのネットワーク「ほぞんネット」
- 西洋古典資料地域保存講習会

### 3. 保存状況調査

- 西洋貴重書保存インデックス

## 1. 中核的専門人材の育成 – 実務研修



派遣元：各図書館

訪問調査  
事前ヒアリング

カリキュラム  
作成



受入先：  
一橋大学社会科学  
古典資料センター

### 成果の還元

- ①環境調査、劣化調査の実施および環境改善
- ②保存知識による蔵書管理のマネジメント
- ③自館または地域での研修会による専門知識の伝搬と継承

### 保存修復工房にて 実務研修（1～3か月）

- ①専門知識の習得
- ②保存修復実務の実習
- ③各館の状況に応じたアドバイス
- ④都内近辺の図書館等を訪問調査



## 2. ネットワーク形成 －西洋古典資料地域保存講習会

- 東北地区西洋古典資料保存講習

2018年11月16日

主催：東北大学・一橋大学

協力：東北地区大学図書館協議会研修部会

参加者43名

- **今年度はただいま開催中！**

## 3. 保存状況調査 － 西洋貴重書保存インデックス

### 西洋貴重書保存インデックス(2019/4/15公開)

50の質問に答えて、あなたの図書館（図書室）における西洋貴重書の保存環境を自己評価してみてください。答えは「できている」（2点）、「ややできている」（1点）、「できていない」（0点）からひとつを選んでください。所用時間は10～15分です。

質問は「組織」「閲覧」「セキュリティ」「環境」「複製」の5つのジャンルにわかれています。各ジャンルの最高20点、総合で最高100点をめざしましょう。

これらの質問は、図書館（図書室）における西洋貴重書の保存環境を見直すための指針・指標（インデックス）としてご利用ください。

※50の質問は以下URLでも読むことができます。

<http://chssl.lib.hit-u.ac.jp/education/index.html> （一橋大学社会科学古典資料センターのウェブサイトへ移動します。）

※回答結果の閲覧方法

「送信」ボタンを押すと表示される送信完了ページ（もしくは自動返信メール）に記載されているURLをクリックすると、回答結果を表示するためのログインフォームが開きます。自動返信メールに記載されている「受付番号」と「メールアドレス」を入力すると、「レーダーチャート」「総合点」「50の質問に対する自分の回答を、5つのジャンル別に表示することができます。」が表示されます。

### 3. 保存状況調査 – 西洋貴重書保存インデックス

- 西洋古典資料・貴重書の保存管理に関する自己点検・自己評価のための指標  
社会科学古典資料センターウェブサイトで公開  
トップページ > 研究・教育活動 > 西洋貴重書保存インデックス  
<http://chssl.lib.hit-u.ac.jp/education/benchmark.html>
- インデックスを使用した「西洋古典資料保存に関する全国調査」を国公立各大学へ依頼

### 3. 保存状況調査 – 西洋貴重書保存インデックス

- 「組織」「閲覧」「セキュリティ」「環境」「複製」の5つのジャンル各10問計50問
- 「できている」(2点)、「ややできている」(1点)、「できていない」(0点)の3段階で回答
- 1問2点満点、各ジャンル20点満点、計100点満点

すべての質問に答えて「送信」すると、「レーダーチャート」「総合点」「50の質問とそれに対する自分の回答の一覧」の3つを表示、PDFでのダウンロードも可

(koten.hit.u@gmail.com というメールアドレスから自動応答メールが来るのでスパムと間違えないように注意！)



### 3. 保存状況調査 – 西洋貴重書保存インデックス

質問項目は以下を参考にしています：

- 『IFLA図書館資料の予防的保存対策の原則』  
<https://www.ifla.org/files/assets/pac/ipi/ipi1-ja.pdf>
- Benchmarks in Collections Care for Museums Archives and Libraries : A Self-assessment Checklist (Benchmarks in Collection Care 2.1)  
<https://326gtd123dbk1xdkdm489u1q-wpengine.netdna-ssl.com/wp-content/uploads/2016/09/Benchmarks-in-Collections-Care-2.1-1.pdf>
- 『情報と保存の活用のためのJHKダイレクトリ 2018年版』  
<http://www.e-jhk.com/> に無料配布の申込フォームあり

### 3. 保存状況調査 – 西洋貴重書保存インデックス

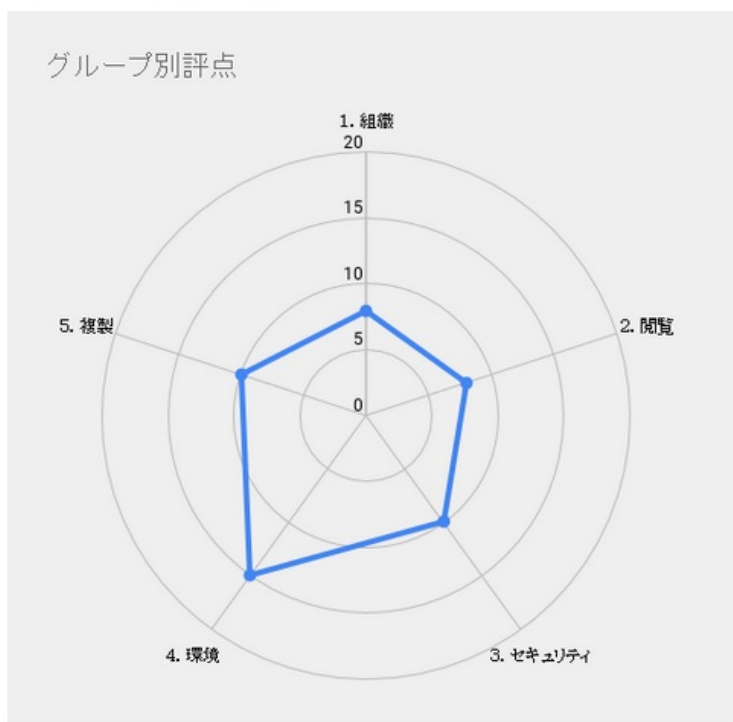
ちなみに、「設問では、温度、相対湿度、照度などについて具体的な目標数値を示すことをなるべく控えています。」

「そのかわり、それらの目標数値に関する情報が掲載されている文献やウェブサイトをご紹介していきますので、ぜひそれらの文献やウェブサイトをご参照ください。」

→ 前述のウェブページに掲載のドキュメント「西洋貴重書保存インデックスについて」にて紹介しています。

### 3. 保存状況調査 – 西洋貴重書保存インデックス

#### 2. レーダーチャート



#### 一橋大学附属図書館の場合

貴重書所蔵点数(概数)

西洋 1~100点

東洋 不明

#### 3. グループ別評点

グループ	評点
1. 組織	8
2. 閲覧	8
3. セキュリティ	10
4. 環境	15
5. 複製	10
総合点	51

## 西洋古典資料保存に関する全国調査

- インデックスを使用した「西洋古典資料保存に関する全国調査」を2019年4~5月に国公立各大学へ依頼
- 集計、分析結果は、2020年3月発行の「一橋大学社会科学古典資料センター年報」で報告予定(2020年4月には、センターウェブサイト及び一橋大学機関リポジトリで公開予定)

## 西洋古典資料保存に関する全国調査

### FAQ

**Q. 西洋貴重書の定義は？**

A. 自館の定義で結構です。社会科学古典資料センターの場合は、概ね1850年以前の資料です。

**Q. 西洋古典籍を所蔵しているが貴重書指定していない**

A. 貴重書指定していなくても、古典資料の保存に関する知識やノウハウをご確認いただく機会にもなります。

**Q. 和漢古典籍は所蔵しているが西洋古典籍は所蔵していない**

A. 質問項目をご覧いただくことで自館の貴重書保存に係る体制を点検・評価していただく機会にもなるため、和漢古典籍・貴重書を念頭にご回答ください。

**Q. 自館では該当しない／回答できない設問はどうすれば？**

A. 「できている」(2点)でご回答ください。

## 西洋貴重書保存インデックスをやってみて

- 「できている」と言い切るには自信がないことも多いが...
- 「気づき」も多い
- 異動等で新たに貴重資料の担当になった方にお勧め！
- 和漢書の自己点検評価にも応用可
- 自館で足りないところ、強化すべきところを確認して予算要求につなげるなど...

**ぜひご活用ください！**

疑問、質問、感想などは [koten@lib.hit-u.ac.jp](mailto:koten@lib.hit-u.ac.jp) まで